

【有償配布 や Web(ホームページ, ブログ, facebook 等)へのアップロード・転載はお止めください】
【リンクはご自由にお貼りください】
「結婚の自由をすべての人に」東京第一次訴訟控訴審(東京高裁)第3回期日(20240426)提出の書面です。

令和5年(ネ)第292号 国家賠償請求控訴事件
控訴人 大江千束 外
被控訴人 国

証拠説明書 19

(第826号証～第836号証)

2024(令和6)年4月15日

東京高等裁判所第2民事部 御中

控訴人ら訴訟代理人 弁護士 上 杉 崇 子
同 寺 原 真希子
同 沢 崎 敦 一
他

号証 甲 A	標目 (原本・写しの別)	作成 年月日	作成者	立証趣旨
826	訂正書(2024年1月30日付意見書) 写	2024 (令 6)・4・ 1	二宮周平	二宮周平名誉教授の2024年1月30日付意見書(甲A793号証)の下記記載部分の訂正 ○6頁「NPO法人マリフォー」を「一般社団法人Marriage For All Japan - 結婚の自由をすべての人に」に訂正 ○10頁「注2」 2023年提出の法案は「廃案」ではなく、審議されないままの状態にされている点を訂正

【有償配布 や Web(ホームページ, ブログ, facebook 等)へのアップロード・転載はお止めください】
 【リンクはご自由にお貼りください】
 「結婚の自由をすべての人に」東京第一次訴訟控訴審(東京高裁)第3回期日(20240426)提出の書面です。

827	陳述書	写	2024(令 6)・4・ 1	大北武己	<ul style="list-style-type: none"> ・同性パートナーが死亡したことによって、何らの法的保障がないことから、死亡したパートナーの遺族と法的紛争になったこと。 ・遺族との訴訟では、大北氏が敗訴していること。 ・法的保障が乏しかったことから、著しい精神的損害を被っていること。
828	陳述書	写	2024(令 6)・4	近藤佳	<ul style="list-style-type: none"> ・同性パートナーが交通事故等で死亡した際に、婚姻制度を利用できないことにより、刑事裁判の被害者参加ができない、保険会社からの損害賠償について何らの権利も主張できない、等といった様々な不利益を被っていること。 また、法律上同性のカップルが、現状の婚姻制度を利用できないことの精神的苦痛。
829	同性婚と司法 (第5章のみ)	写	2024・ 2・20	千葉勝美 元最高裁 判事	<ul style="list-style-type: none"> ・憲法24条1項は「婚姻の要件を定める定義規定ではな」と記載されていること(137頁2行目)。 ・24条1項の文言には、当該文言自体によって婚姻当事者を限定する趣旨は無いと考えられること(138頁6行目)。
830	「歴史のなかの憲 法 上巻」248～ 249 頁	写	1977(昭 52)・ 9・26	家永三郎	<p>明治憲法下の日本では、戸主同意権等の民法上の規定によって婚姻の自由が制約されただけではなく、勅令や「達」によって、陸海軍人や警察官の婚姻の自由が大きく制約され、このような状態を廃して婚姻の自由を徹底するために憲法24条1項がおかれたこと。</p>

【有償配布 や Web(ホームページ, ブログ, facebook 等)へのアップロード・転載はお止めください】
 【リンクはご自由にお貼りください】
 「結婚の自由をすべての人に」東京第一次訴訟控訴審(東京高裁)第3回期日(20240426)提出の書面です。

831	同性婚訴訟 岸田首相 “憲法上想定されず” 訴訟での判断注視	写	2024(令6)・3・15	NHK	<p>参議院予算委員会で、野党議員が（3月14日に札幌高等裁判所が憲法24条1項に違反する旨の違憲判決が出されたことに触れながら）法律上の同性カップルの婚姻について質問したところ、</p> <p>岸田首相は、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当事者双方の性別が同一である婚姻の成立を認めることは憲法上、想定されていないというのが従来政府の見解であり、 ・政府としては少なくとも同性婚に関する規定を設けないことが憲法に違反するものではない、 ・いずれも現段階では確定前の判決であり、また他の裁判所で同種の訴訟が継続していることから、引き続きこれらの訴訟での判断も注視していきたい、と述べていること。 <p>（もって、政府与党は、法律上同性のカップルの婚姻について、議論しようとする意思がないことを証明する。）</p>
-----	--------------------------------	---	---------------	-----	--

【有償配布 や Web(ホームページ, ブログ, facebook 等)へのアップロード・転載はお止めください】
 【リンクはご自由にお貼りください】
 「結婚の自由をすべての人に」東京第一次訴訟控訴審(東京高裁)第3回期日(20240426)提出の書面です。

832	林官房長官 同性婚制度に慎重 「国民の家族観と密接にかかわる」	写	2024(令6)・3・14	産経新聞	<p>3月14日の記者会見において、林官房長官は、(3月14日に札幌高等裁判所が憲法24条1項に違反する旨の違憲判決が出されたことに関して)「同性婚制度の導入は国民生活の基本にかかわる問題で、国民一人一人の家族観とも密接にかかわるものだと認識している」、「国民各層の意見や国会の議論の状況、同性婚に関する訴訟の動向など引き続き注視する必要がある」と述べていること。</p> <p>(もって、政府与党は、法律上同性のカップルの婚姻について、議論しようとする意思がないことを証明する。)</p>
833	同性婚「国民的な理解が必要」 小泉法相、札幌高裁の違憲判決で	写	2024(令6)・3・15	共同通信	<p>小泉龍司法相は3月15日の閣議後の記者会見にて、同性婚を認めない法律の規定を憲法違反と判断した札幌高裁判決について「さまざまな判決で判断が分かれたところもあり、中身を注視していく。この問題は一人一人の家族観に関わり、広く影響が及ぶ。国民的なコンセンサスと理解が求められる」と述べていること。</p> <p>(もって、政府与党は、法律上同性のカップルの婚姻について、議論しようとする意思がないことを証明する。)</p>
834	「推薦確認書に盛山氏の署名」(朝日新聞 2024・3・6 朝刊 31面)	写	2024・3・6	朝日新聞社編集委員・沢伸也、高島曜介	<p>衆議院選の公示直前に、旧統一教会の友好団体である「世界平和統一家庭連合」が発行する推薦確認書に、文部科学大臣が、署名していたということ。</p>

【有償配布 や Web(ホームページ, ブログ, facebook 等)へのアップロード・転載はお止めください】
 【リンクはご自由にお貼りください】
 「結婚の自由をすべての人に」東京第一次訴訟控訴審(東京高裁)第3回期日(20240426)提出の書面です。

835	旧統一教会の教えに「LGBTは罪なのです」国会で進まない“多様性”法案との関係は【報道 1930】	写	2022(令4)・8・5	TBS	<p>旧統一教会の創始者である文鮮明氏は、セクシュアルマイノリティのうち、レズビアンやゲイについて、以下のように発言していること。</p> <p>「今、アメリカでレズビアンやホモセクシャルやゲイのようなものが起きています。それは罪です。罰を受けなければなりません。これは自分勝手な愛です。すればするほど破壊されていくのです。 (中略) 人間がそうなる時はこの人類が滅亡するのです」</p>
836	第二百十一回国会衆議院 内閣委員会 議録 第十九号	写	2023(令5)・6・9	衆議院 内閣委員会 所属の各議員	<p>「性的指向及びジェンダーアイデンティティの多様性に関する国民の理解の増進に関する法律(通称:LGBT理解増進法)」が衆議院に提出されたことを受け、内閣委員会所属の各議員が、上記法律案について審議を行ったこと及びその審議中に各議員が下記発言をしたこと等。</p> <p>自民党・新藤義孝議員 「この法案は、基本理念に掲げさせていただきましたが、全ての国民が、性的マイノリティーの方、またマジョリティーの方、その方々がお互いに理解をし合いながら、そしてそれを深め、共生社会をつくっていくべきだ、それを実現を図るために、政府にそれを促す、こういう理念法でございます」(3頁)</p> <p>「申し上げますけれども、皆お互いが理解をしてそして性的多様性の理解を深めながら、穏やかな共</p>

【有償配布 や Web(ホームページ, ブログ, facebook 等)へのアップロード・転載はお止めください】
【リンクはご自由にお貼りください】
「結婚の自由をすべての人に」東京第一次訴訟控訴審(東京高裁)第3回期日(20240426)提出の書面です。

				<p>生社会をつくる、これは誰しもが望んでいることだと思いますので、そういったことを政府に促すための私たちは法案を出させていただいた」(4頁)</p> <p>公明党・河西議員 「当事者の方からも、この問題というのは命の問題なんだという言葉もいただいております。そういったことに真剣に向き合いながら、今御答弁いただいたラウンドテーブルの共生社会、その実現に向けてしっかりと尽力をしていくことをお誓い申し上げます…」(5頁)</p> <p>日本維新の会・堀場議員 「私、このLGBTの話、…本来であれば、本当に共生社会は、恐らく、例えば同性婚が認められる、若しくはパートナーの人たちが様々なパートナーシップとして一緒にいられて、…子どもたちが普通に、ああ、あそこはそうなんだね、ふうんぐらいになるのがきっと共生社会であって…」(8頁)</p> <p>国民民主党・斎藤議員 「同性婚も含めて、しっかりと皆様が安心して自分のパートナーと生活を送れる、そして差別することがない、されることがない社会を築いていかなければならないというふうに考えております」(8頁)</p>
--	--	--	--	--

【有償配布 や Web(ホームページ, ブログ, facebook 等)へのアップロード・転載はお止めください】
【リンクはご自由にお貼りください】
「結婚の自由をすべての人に」東京第一次訴訟控訴審(東京高裁)第3回期日(20240426)提出の書面です。

					(もって、同性婚に賛成する議員はいてもいずれも野党議員であり、政府与党ではないこと、それでも議員一同、「共生社会の実現」に対しては一致していることを証明する。)
--	--	--	--	--	--

以上